

病害虫発生予察特殊報 第 2 号

モモヒメヨコバイの発生について

佐賀県

1. 病害虫名：モモヒメヨコバイ
Singapora shinshana (Matsumura)



2. 発生作物：ウメ、ハナモモ

3. 発生の経過と概要

令和 4 年 7 月に県内のウメ及びハナモモにおいて、葉を加害するヨコバイ類を確認した。これらの成虫を観察したところ、頭頂部に黒点があったため、農林水産省門司植物防疫所に同定依頼した結果、いずれも本県では未発生の、モモヒメヨコバイ *Singapora shinshana* (Matsumura) であることが判明した。

4. 国内の発生状況

沖縄県での分布が確認されていたが、令和元年に和歌山県で確認されて以降、徳島県、埼玉県、京都府、大阪府、岡山県、群馬県、滋賀県、香川県、栃木県、山口県、東京都、兵庫県、広島県、愛知県、大分県の 17 都府県で発生が確認されている。本種は、国内ではウメ、モモ、スモモ、アンズ、オウトウ、ハナウメ、ハナモモ等を加害することが報告されている。

5. 形態

本種の成虫の体色は黄緑色で（図 1、2）、頭頂から翅端までの全長は 3.0～3.5mm である。複眼は黒色で、頭頂部に特徴的な黒点がある（図 3）。

6. 被害

成虫および幼虫が、葉を吸汁加害する。加害を受けた葉は、全体的に緑色が薄く、白っぽく見える（図 2、4）。激しく加害された葉は早期落葉する。なお、被害が見られる葉の裏側には幼虫の脱皮殻が付着していることが多い（図 5）。

7. 防除対策

- 1) 現在、モモヒメヨコバイに対する登録農薬はないため、耕種的防除を行う。
- 2) 本種の発生及び被害の早期発見に努める。被害が確認されたら速やかに寄生葉ごと除去し、適切に処分する。



図1 成虫

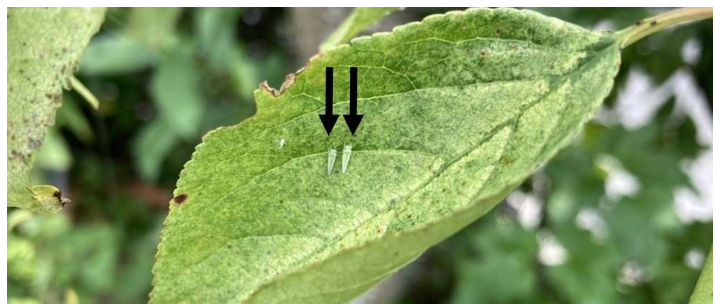


図2 ウメの被害葉に寄生している成虫（矢印）

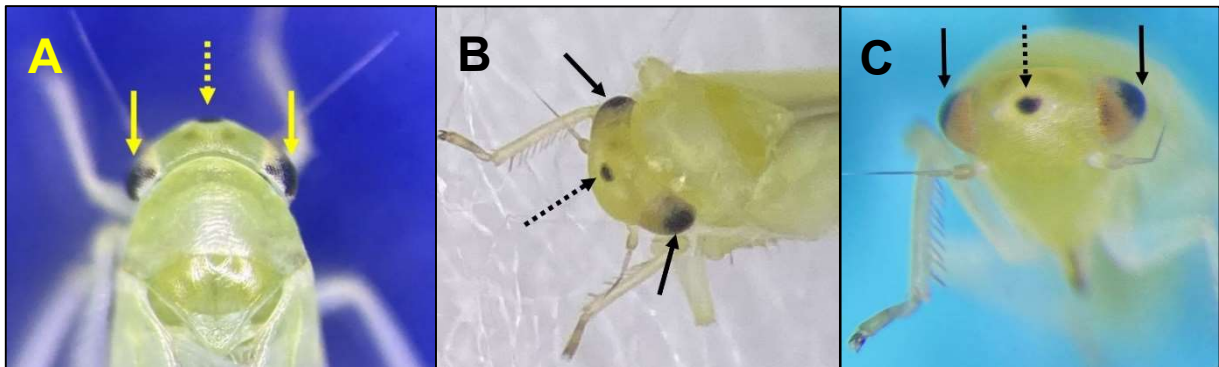


図3 成虫の頭頂部（Aは上から、Bは斜め上から、Cは水平方向から、それぞれ撮影）
注）複眼は黒色（実線矢印）で、頭頂部に黒点を1つ有する（破線矢印）



図4 ハナモモの被害葉

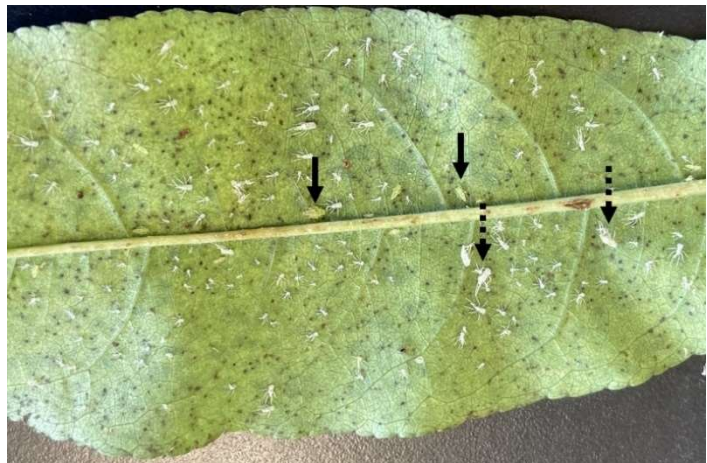


図5 ハナモモの被害葉（葉裏）

注）寄生している幼虫の一部に実線矢印、脱皮殻の一部に破線矢印を付記した。

連絡先：佐賀県農業技術防除センター 病害虫防除部

〒840-2205 佐賀市川副町南里 1088

TEL (0952) 45-8153 FAX (0952) 45-5085

Mail nougyougijutsu@pref.saga.lg.jp

ホームページアドレス <https://www.pref.saga.lg.jp/kiiji00321899/index.html>

